

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	3
事業名	医療給付経費	会計	款	項	目
		一般	3	1	4
施策	2 人にやさしいまち	課名	保険年金課		
	2-3 安心して子育てのできるまちをつくる	係名			
	2-3-1 子育て支援の充実				
主要施策	④相談・援助体制の充実				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉医療費の助成対象者 (子ども、障がい者、一人親家庭等)	目的 (対象がどのような状態になっているか)	対象者の保健の向上に寄与し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。
事業内容	医療給付事務… 福祉医療費助成は、子育て支援や経済的負担の軽減を図るため、子ども、障がい者及び一人親家庭等の医療費の助成を実施しています。 なお、本助成制度は、三重県福祉医療費助成制度の補助対象となっています。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			198,146		197,538		214,334		
財源内訳	直接事業費 A		193,262		192,654		209,318		
	うち一般財源		120,498		119,223		132,268		
人件費(千円) B			4,884		4,884		5,016		
内訳	一般職員(人・千円)		0.74	4884	0.74	4884	0.76	5016	
	臨時職員(人・千円)			0		0		0	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	子どもの医療費助成について窓口での支払負担のない「現物給付」による助成の導入
②H30年度に実施した取り組み	三重県福祉医療費助成制度を活用し、子育て支援や経済的負担の軽減を図るため、医療費の助成を行う。	④今後の改善計画	償還払い及び現物給付における適正な事務の執行